● 保険料の納め方

保険料は原則として、年金から天引き（「特別徴収」）になりますが、年金の額等によっては、納付書や口座振替の方法（「普通徴収」）で納めていただきます。年度の途中で75歳になられた方なども、年金天引きが始まるまでは普通徴収です。

年金受給額

年額18万円以上

年額18万円未満

介護保険料と合わせた保険料額

年金額の2分の1を超えない方

年金額の2分の1を超える方

特別徴収（年金からの天引き）

- 年金の定期支払い（年6回）の際に、保険料が天引きされます。
- 天引きされる年金は、原則として介護保険と同じです。
※年額18万円以上の年金を受給している場合でも、特別徴収の対象となる年金の優先順位により、年金からの天引きとならない場合があります。
※障害・遺族年金は天引きの対象となりますが、非課税年金のため、保険料の算定の基礎となる所得には含まれません。

普通徴収（納付書・口座振替）

- 年間の保険料を7月から翌年3月の9回に分けて納めます。
- 同封の納付書等により、各納期の納期限までに金融機関で納めます。
※納期限（口座振替日）は、各月末日です。ただし、土日祝のときは、金融機関の翌営業日となります。
- 便利な口座振替をご利用ください。**
⇒ お申し込みはご希望の金融機関窓口へ

- 特別徴収の対象となる年金は種類等によって優先順位が定められています。複数の年金を受給している場合、最も優先順位の高い年金のみで特別徴収の判定がなされるため、全部の年金受給額の合計が年額18万円以上の場合でも特別徴収にならない場合があります。

①年金保険者による優先順位

1. 日本年金機構
2. 国家公務員共済
3. 私学共済
4. 地方公務員共済

②年金の種類による優先順位

1. 老齢基礎年金
2. 国年老齢年金など
3. 厚生老齢年金など
4. 船保老齢年金など
5. 退職年金など
6. 障害年金・遺族年金など

特別徴収（年金天引き）を希望されない場合について

特別徴収（年金天引き）を希望されない方は、申請していただくことにより口座振替へ納付方法を変更できます。

納付方法を変更される場合は、変更を希望する年金受給月の3ヶ月前までに、宗像市国保医療課への申請が必要です（※すでに金融機関へ後期高齢者医療保険料の口座振替依頼をされている方も、年金天引きを希望されない場合は、国保医療課への申請が別途必要ですのでご注意ください）。

ただし、これまでに保険料の滞納がある場合は、口座振替への変更が認められないことがあります。詳しくは、国保医療課後期高齢者医療係までお問い合わせください。

社会保険料控除について

後期高齢者医療保険料は、所得税及び住民税の申告のとき、社会保険料控除の対象となります。

- 年金天引きで納付した場合 ⇒ 年金受給者ご本人に適用されます。
- 口座振替で納付した場合 ⇒ 口座振替で納付した方（口座名義人）に適用されます。